

「画像の認識・理解」特集号論文募集案内(和文誌D)

画像の認識・理解は、学問的に魅力のある研究分野であると同時に、産業界からもその進展や実用化が強く望まれている分野でもあります。このような背景から、本分野は本学会での最も重要かつ活発な研究分野の一つであり、その論文は基礎的・理論的な論文から、実用化・システム化を念頭に置いた応用研究論文までを含む広いスペクトルを有しています。

この分野における我が国最大規模のシンポジウムとして、本年(平成21年)7月に「画像の認識・理解シンポジウム(MIRU 2009)」(主催:情報・システムソサイエティ パターン認識・メディア理解研究専門委員会, 画像情報学フォーラム, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)が開催されます。この「画像の認識・理解」特集号(平成22年8月号)では、同シンポジウムで発表された優秀な研究成果を中心に論文を掲載することにより、最新の研究成果を広く会員に伝え、これからの画像認識・理解分野を展望することを目的としています。

今回の特集号では、投稿はMIRU2009の発表論文に制限せず、画像の認識・理解に関する和文の論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。なお、MIRU2009に和文で投稿され、その査読を経て特に優秀な論文と判断され本特集号に推薦され、さらに改めて本特集号の査読を経て採択された論文を「MIRU2009推薦論文」として掲載します。

1. 対象分野

- A. パターン認識基礎
- B. パターン認識応用
- C. 幾何学的解析・最適化
- D. 光学的解析・画質改善
- E. 画像映像解析
- F. 3次元再構成・多視点画像処理
- G. レンジファインダ・3次元データ処理
- H. インタラクション・VR・ロボット

2. 論文の執筆と取扱い

- 論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。「投稿のしおり」は下記のURLで閲覧できます。
http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載する場合があることをご了承下さい。
- 論文採録の場合には掲載料が必要となりますが、あらかじめご了承下さい。

3. 論文投稿締切日:平成21年10月9日(金)厳守

4. 問合せ先

奥富正敏
東京工業大学 大学院理工学研究科
機械制御システム専攻
〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1
TEL: 03-5734-3472 FAX: 03-5734-3483
E-mail: mxo@ctrl.titech.ac.jp

5. 投稿方法: 本特集号では電子投稿のみ受け付けます。

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されます。メール内に記載のURLにアクセスし、「電子投稿(ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先:

〒105-0011 港区芝公園3-5-22 機械振興会館別館3階
(社)電子情報通信学会 出版事業部 ソサイエティ誌出版課
FAX: 03-3433-6616, E-mail: wabun-d2@ieice.org
郵送時、封筒に「画像の認識・理解特集号」と朱記して下さい。

6. 特集号編集委員会

編集委員長 奥富正敏(東工大)
編集幹事 清水郁子(農工大), 植芝俊夫(産総研),
田中正行(東工大)
編集委員 有田大作(九州先端研), 石川博(名市大),
内田誠一(九大), 亀田能成(筑波大),
川崎洋(埼玉大), 佐藤淳(名工大),
佐藤洋一(東大), 出口光一郎(東北大),
原健二(九大), 福井和広(筑波大),
藤吉弘亘(中部大), 前田英作(NTT)
美濃導彦(京大), 向川康博(阪大),
目加田慶人(中京大), 山澤一誠(奈良先端大)

